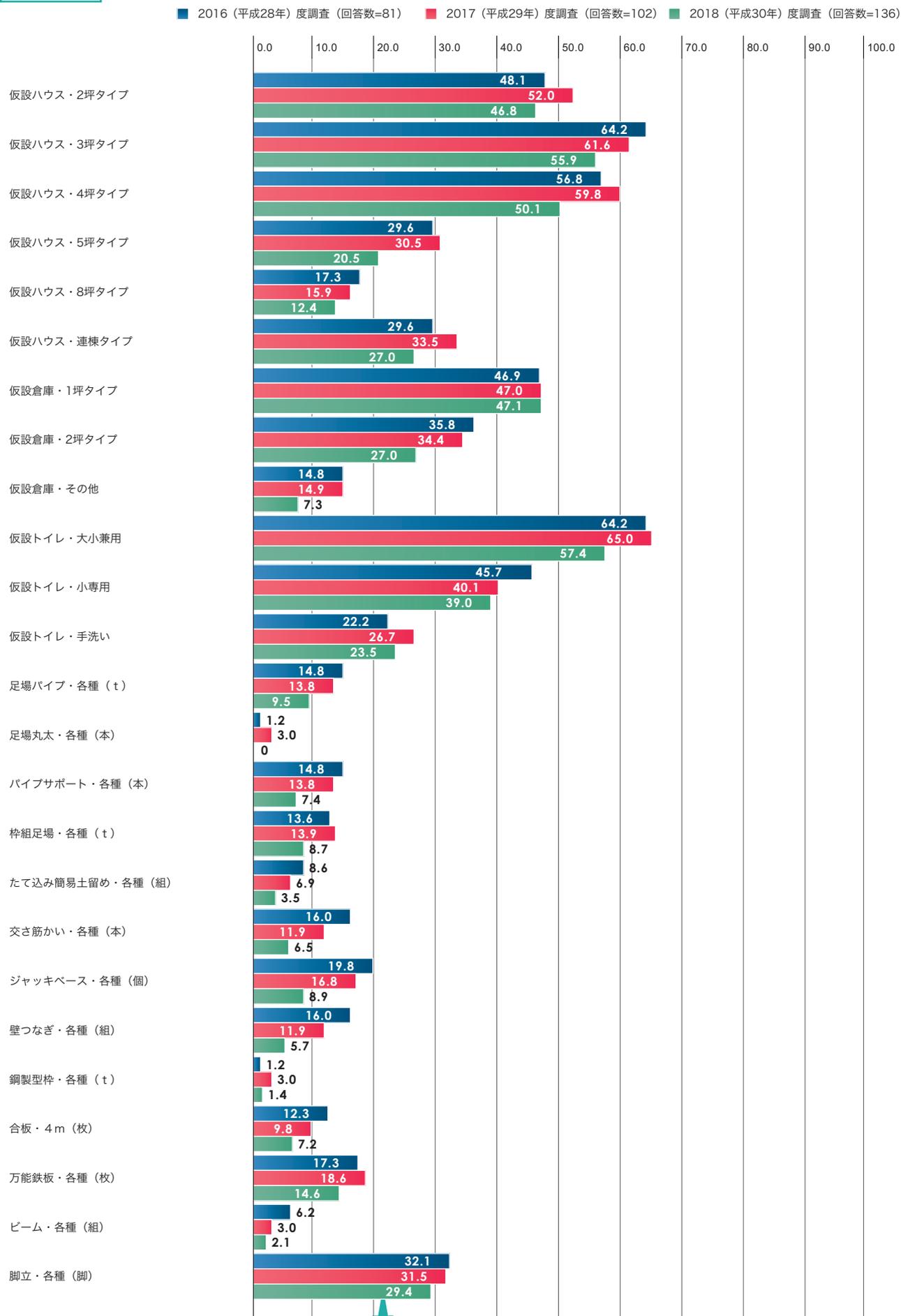


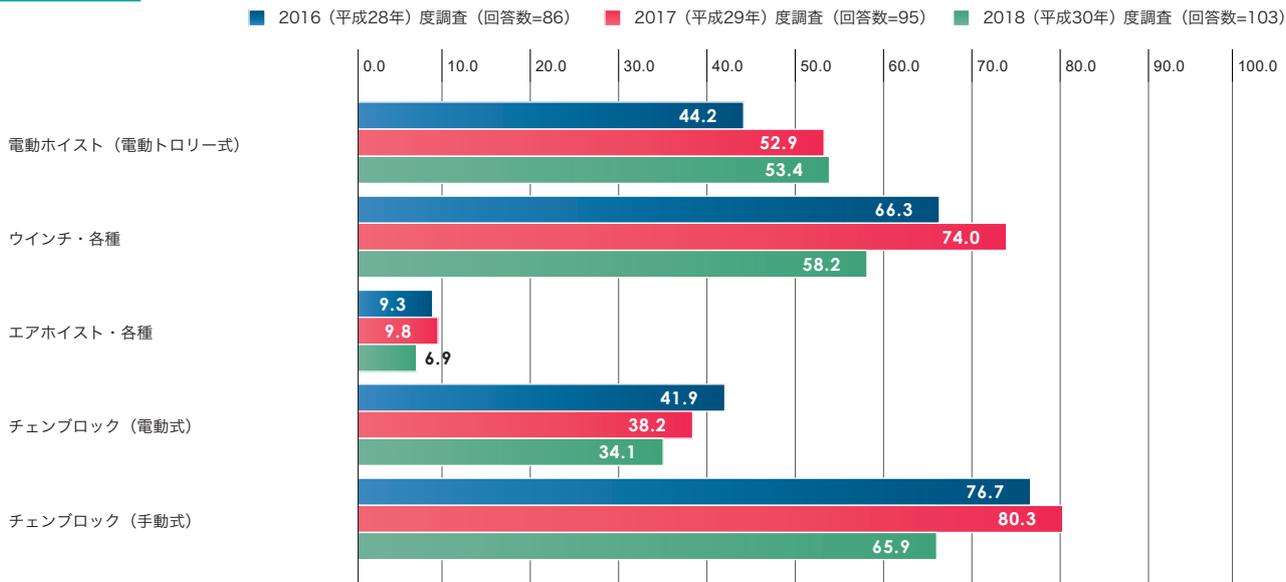
グラフ31

P.軽仮設材保有状況 (単位: % ※有回答絞り、複数回答)



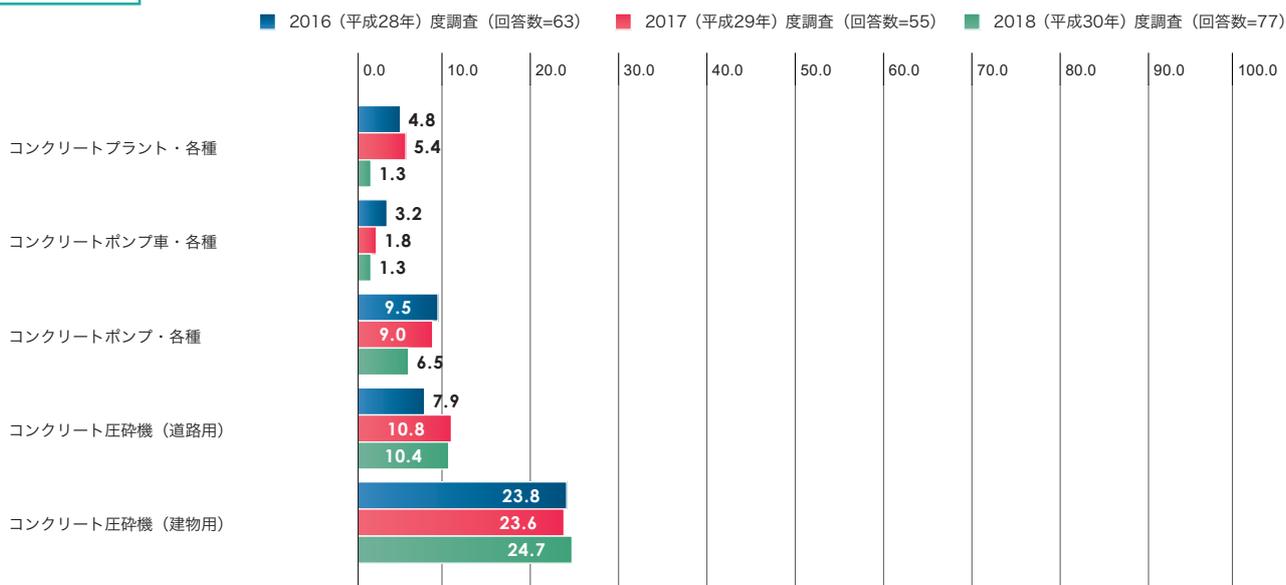
グラフ 32

Q.ウインチ類保有状況 (単位: % ※有回答絞り、複数回答)



グラフ 33

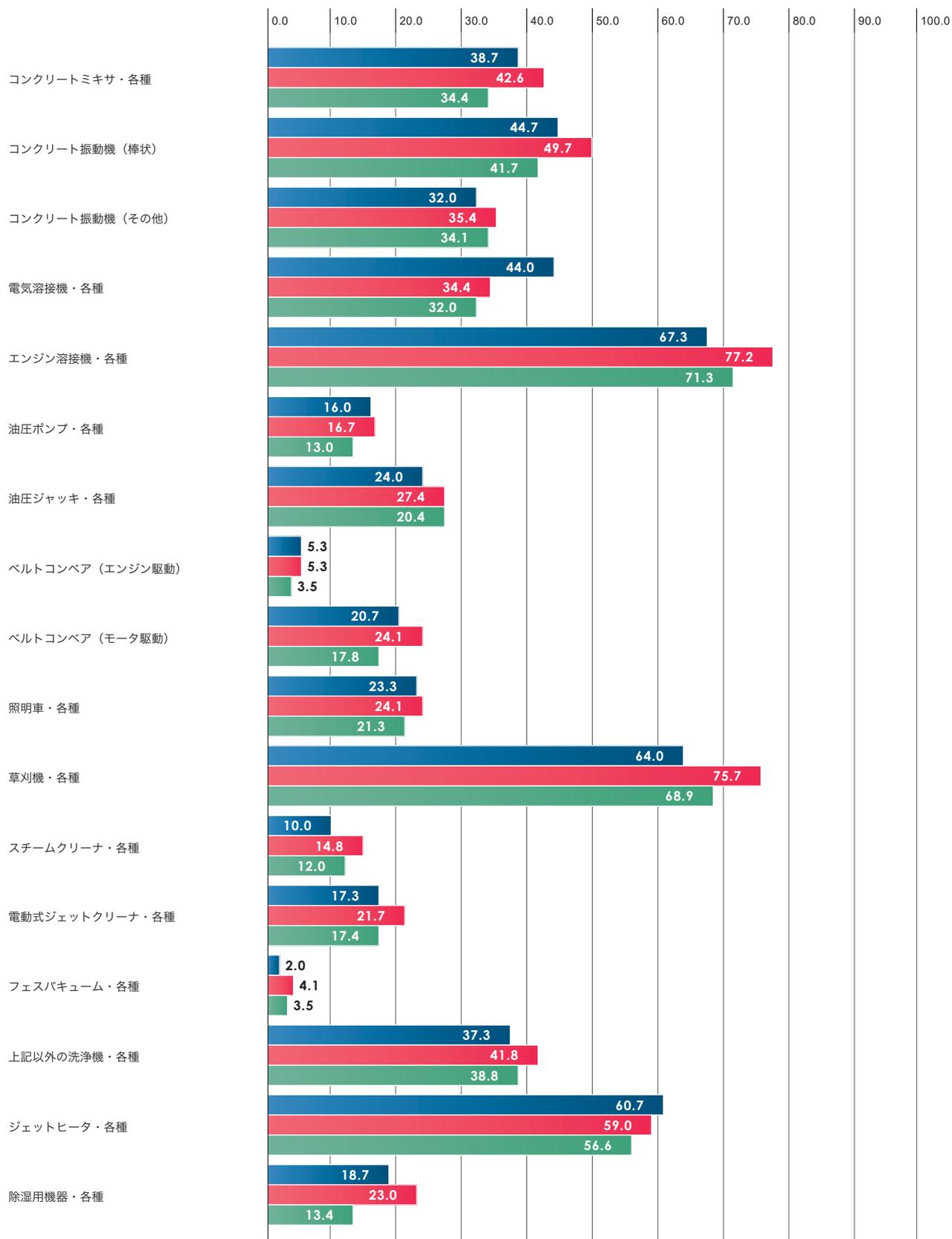
R.コンクリート機械保有状況 (単位: % ※有回答絞り、複数回答)



グラフ 34

S.その他の機器保有状況 (単位: % ※有回答絞り、複数回答)

■ 2016 (平成28年) 度調査 (回答数=150) ■ 2017 (平成29年) 度調査 (回答数=174) ■ 2018 (平成30年) 度調査 (回答数=204)

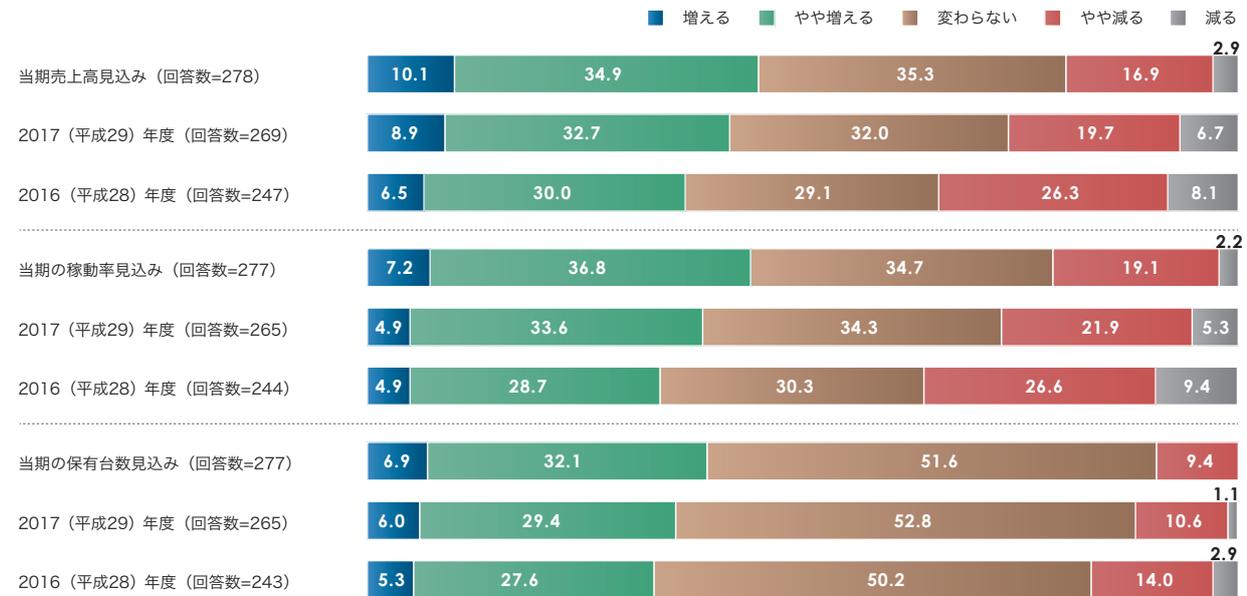


(5) 業況感

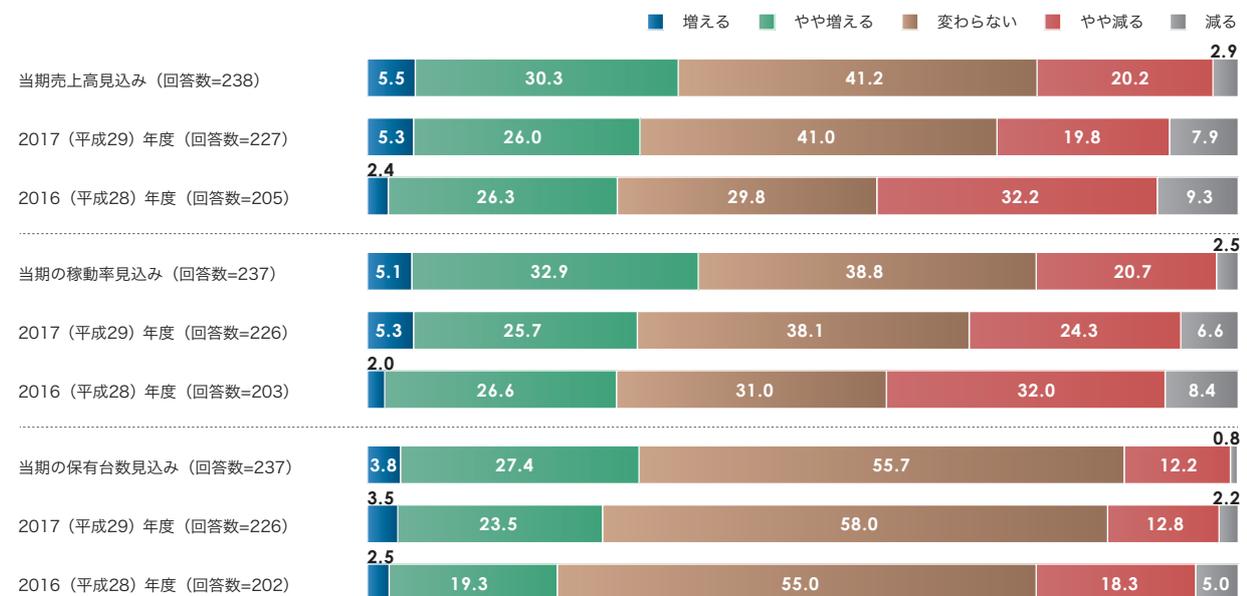
レンタル機材全体、重機、小型機械およびその他機材について、調査を実施した2018年7月から9月時点での、当期の売上高・稼働率・保有台数の見込みについて確認した結果が以下である。（※一昨年調査は2016年12月から2017年1月時点。昨年調査は2017年7月から9月時点）

レンタル機材全体に対する当期売上高は「増える」「やや増える」の合計が45.0%、「やや減る」「減る」の合計が19.8%であった。当期稼働率は同じく増える合計が44.0%、減る合計が21.3%、当期保有台数は増える合計が39.0%、減る合計が9.4%で、売上高・稼働率・保有台数いずれも一昨年調査から増加傾向であった。（グラフ35～グラフ38）

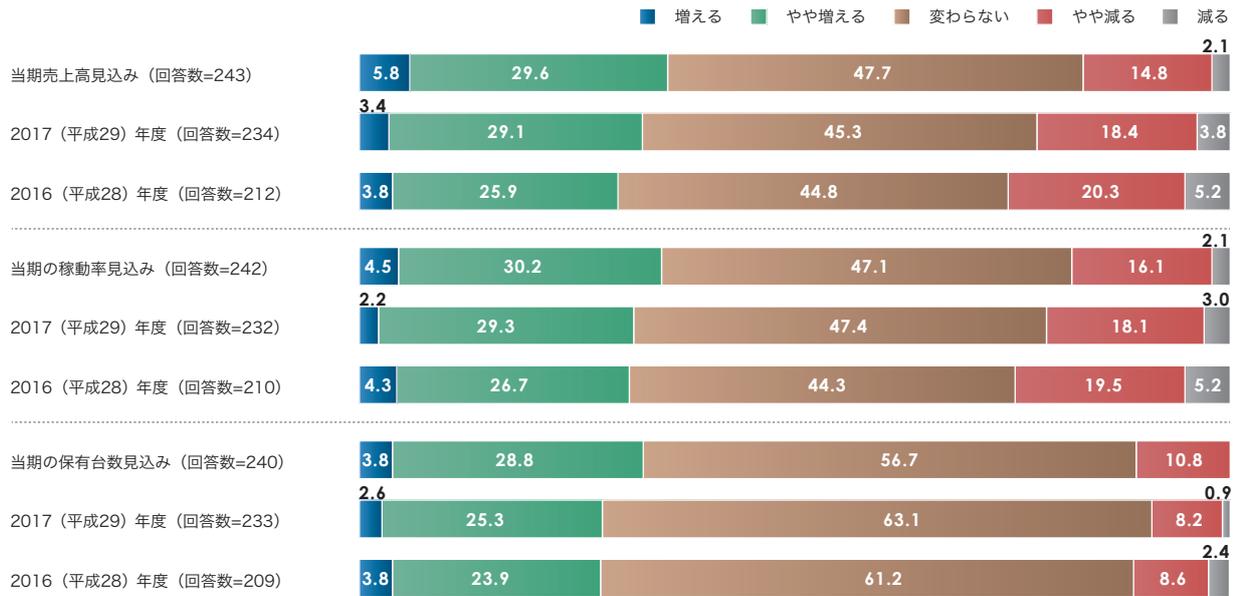
グラフ 35 レンタル機材全体 （単位：％ ※有回答絞り）



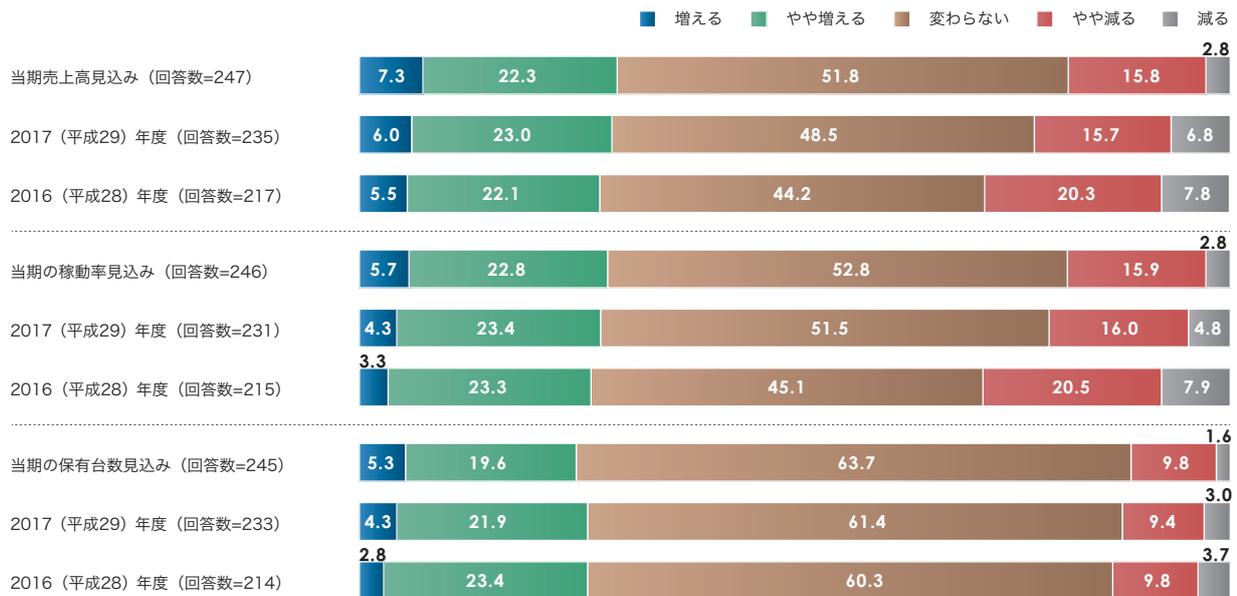
グラフ 36 重機 （単位：％ ※有回答絞り）



グラフ 37 小型機械 (単位：% ※有回答絞り)



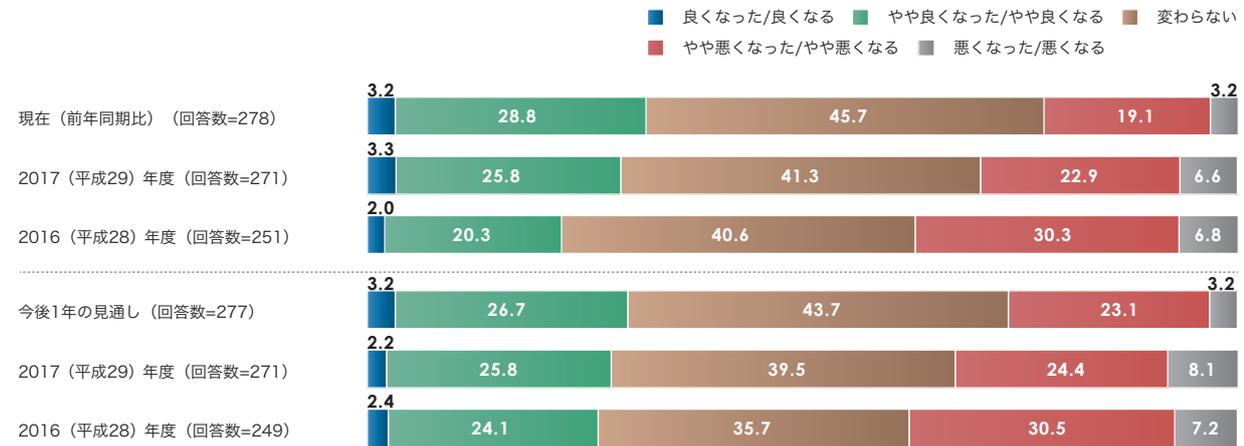
グラフ 38 その他機材 (単位：% ※有回答絞り)



調査の中では調査を実施した2018年7月時点の日本経済全体や自社の業況、雇用状況の動向について確認している。
 (※一昨年調査は2016年12月から2017年1月時点。昨年調査は2017年7月から9月時点) 前年同期と比べた日本経済の状況は「良くなった」「やや良くなった」の合計が32.0%で、「やや悪くなった」「悪くなった」の合計が

22.3%だった。
 今後1年の日本経済の見通しでは「良くなった」「やや良くなった」の合計が29.9%、「やや悪くなった」「悪くなった」の合計が26.3%で、一昨年調査から日本経済の景況感についての評価は改善傾向にある。(グラフ39)

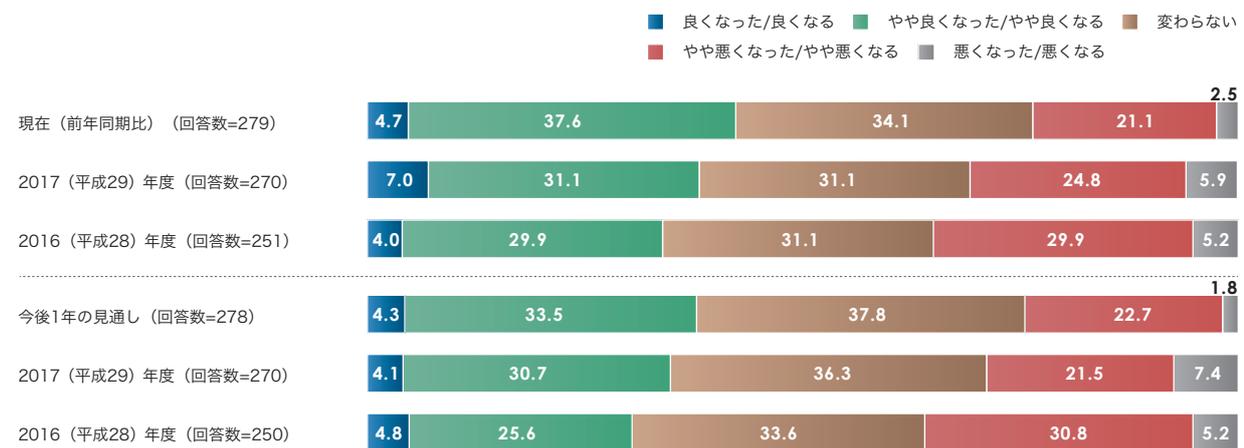
グラフ 39 日本経済の景況感 (単位：% ※有回答絞り)



前年同期と比べた現在の自社の業況については「良くなった」「やや良くなった」の合計(42.3%)が「やや悪くなった」「悪くなった」の合計(23.6%)を上回り、昨年調査よりも自社の業況についての評価は上昇している。

今後1年の見通しでも「良くなる」「やや良くなる」の合計が37.8%、「やや悪くなる」「悪くなる」の合計が24.5%で、同様の傾向。(グラフ40)

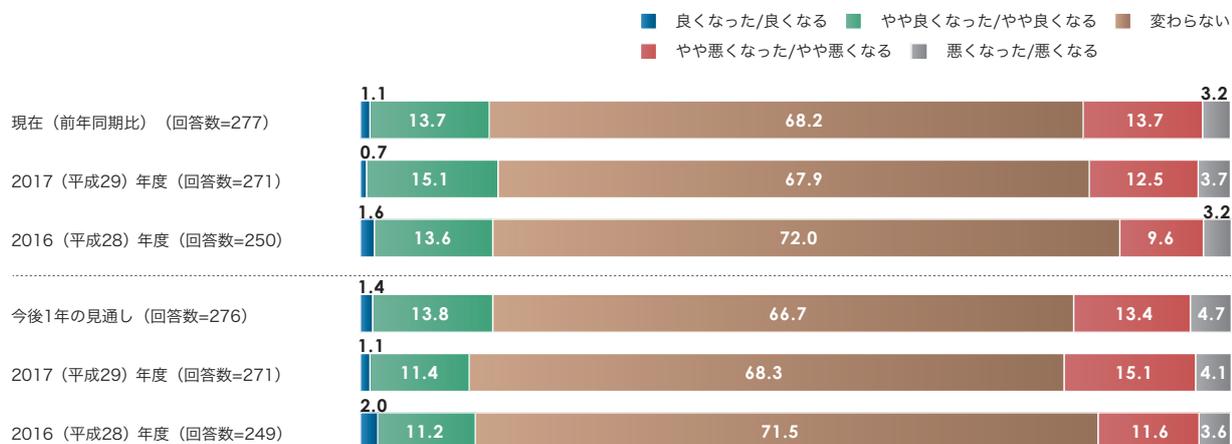
グラフ 40 貴社の業況 (単位：% ※有回答絞り)



自社の雇用状況について、前年同期と比べた現状については「良くなった」「やや良くなった」の合計が昨年調査と比べてわずかに下がったが、今後1年の見通しでは約3ポイント上がった。

「やや悪くなった」「悪くなった」の合計は、前年同期と比べた現状については昨年調査と比べて横ばいだったが、今後1年の見通しではわずかに下がった。（グラフ41）

グラフ41 貴社の雇用状況（単位：％ ※有回答絞り）

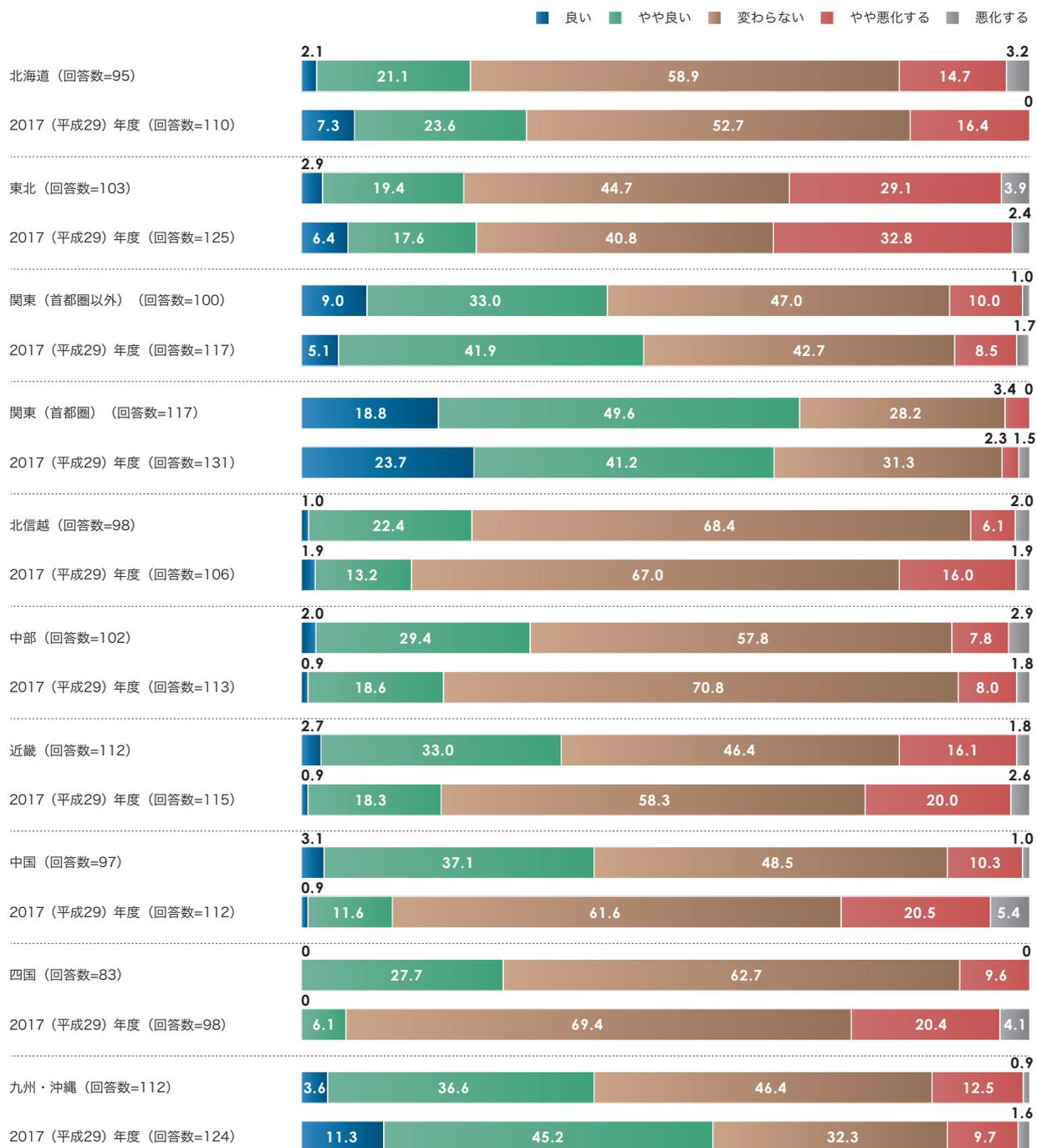


地域別の調査時点での景況感についてみると、「良い」「やや良い」の合計が関東（首都圏）で68.4%となり、唯一半数を超えた。一方、悪いとする割合が最も高いのが東北で、「やや悪い」「悪い」の合計が33.0%だった。昨年調

査と比較して「良い」「やや良い」の合計が昨年より増加しているのは関東（首都圏）、北信越、中部、近畿、中国、四国となった。（グラフ42）

グラフ42

地域別での現時点での景況感（単位：％ ※有回答絞り）





【免責条項】

本報告書で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。

本報告書で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。